

2026年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部/工芸科学部/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology/School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/無/無/無/無/無 : /Not available/Not available/Not available/Not available
学域等/Field	/応用生物学域/物質・材料科学域/設計工学域/設計工学域 : /Academic Field of Applied Biology/Academic Field of Materials Science/Academic Field of Engineering Design/Academic Field of Engineering Design	年次/Year	/4年次/4年次/4年次/4年次/4年次 : /4th Year/4th Year/4th Year/4th Year/4th Year
課程等/Program	/応用生物学課程・課程専門科目/応用化学課程・課程専門科目/電子システム工学課程・課程専門科目/情報工学課程・課程専門科目/機械工学課程・課程専門科目 : /Specialized Subjects for Undergraduate Program of Applied Biology/Specialized Subjects for Undergraduate Program of Applied Chemistry/Specialized Subjects for Undergraduate Program of Electronics/Specialized Subjects for Undergraduate Program of Informati	学期/Semester	/第1クォータ/第1クォータ/第1クォータ/第1クォータ/第1クォータ : /First quarter/First quarter/First quarter/First quarter/First quarter
分類/Category	//// : ////	曜日時限/Day & Period	/ : /

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	0			
科目番号 /Course Number	13160131			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	演習 : Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	地域創生課題セミナーII (1Q) : Regional Creation Task Seminar II			
担当教員名 / Instructor(s)				
その他/Other	インターンシップ実施 科目 /Internship	国際科学技術コース提供 科目 /IGP	PBL 実施科目 /Project Based Learning	DX 活用科目 /ICT Usage in Learning
			○	
	実務経験のある教員による 科目 /Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 /Objectives and Outline of the Course	
日	理工系のリーダー人材として必要な、地域社会・企業から求められている能力「コミュニケーション力、リーダーシップ、課題解決力」を理解し育成する課題。

	特に京都府北部地域をベースに地域課題を考え、多分野の人材が相互に協力して解決へ導くためのプロセスを体験しながら学びます。 地域課題は京都北部の企業や自治体から提示されます。 3年次の地域創生課題セミナーⅠと異なるのは、より専門性の強い課題に対してソリューションの提案、プロトタイプング実施までを目標とします。
英	The ability to understand and nurture the ability "communication skill, leadership, problem solving power" required by local society / enterprise, which is necessary as a human resource of science and engineering leaders. In particular, considering regional issues based on the northern part of Kyoto Prefecture, we will learn while experiencing the process for multi-disciplinary human resources to cooperate with each other to guide solutions.

学習の到達目標 / Learning Objectives	
日	地域社会の現状と課題を理解し、自ら課題解決へのマインドを持つようになる。 グループワークを通じ、コミュニケーション、プレゼンテーションの能力を身につける 高い専門性を要求される地域課題の解決へ向かうプロセスを体験し、その重要性を理解する。 高い専門性を要求される地域課題の解決策のプロトタイプングを行い、実装力を育む。
英	Understand the current situation and problems of the local community, and to have a mind to solve the problem themselves. Through group work, acquire the ability of communication and presentation Experience the process of solving problems that requires high expertise and understand its importance. Experience the process of solving problems that requires high expertise and enhance the implementation ability

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 / Course Plan			
No.	項目 Topics	内容 Content	
1	日	オリエンテーション	課目についてのオリエンテーション、全体像を周知する
	英		
2	日	チームビルディング	京都北部の自治体、あるいは企業から課題を解決するためのチーム決定と、メンバー間のチームビルディングを行う
	英		
3	日	地域についての現状を学ぶ	京都北部地域の現状を学ぶ。地域へ足を運び実体験をしながら、地方創生や地域活性化の事例についても学びワークに必要な地域に対する向き合い方やマインドセットを身につける。
	英		
4	日	地域、企業からの課題提示	京都北部の自治体、あるいは企業から課題を提示して貰い、課題を理解する。
	英		
5	日	地域、企業からの課題の分析、情報の収集 1	京都北部の自治体、あるいは企業からの課題を分析し、必要な情報を収集する。
	英		
6	日	地域、企業からの課題の分析、情報の収集 2	京都北部の自治体、あるいは企業からの課題を分析し、必要な情報を収集する。
	英		
7	日	地域、企業からの課題に対する解決策のデザイン 1	京都北部の自治体、あるいは企業からの課題に対する解決策を、自身の高い専門性を生かしてデザインする。
	英		
8	日	地域、企業からの課題に対する解決策のデザイン 2	京都北部の自治体、あるいは企業からの課題に対する解決策を、自身の高い専門性を生かしてデザインする。
	英		
9	日	中間プレゼン	京都北部の自治体、あるいは企業からの課題に対する解決策、及びそのデザインについてプレゼンテーションを実施し、チーム間で相互評価する。
	英		
10	日	地域、企業からの課題に対する	相互評価の結果をフィードバックすることで、京都北部の自治体、あるいは企業からの

	英	解決策のデザインの改良 1	課題に対する解決策のデザインを改良する。
11	日	地域、企業からの課題に対する解決策のデザインの改良 2	相互評価の結果をフィードバックすることで、京都北部の自治体、あるいは企業からの課題に対する解決策のデザインを改良する。
	英		
12	日	地域、企業からの課題に対する解決策の実装 1	京都北部の自治体、あるいは企業からの課題に対する解決策をデザインに基づき実装する。
	英		
13	日	地域、企業からの課題に対する解決策の実装 2	京都北部の自治体、あるいは企業からの課題に対する解決策をデザインに基づき実装する。
	英		
14	日	地域、企業からの課題に対する解決策の実装 3	京都北部の自治体、あるいは企業からの課題に対する解決策をデザインに基づき実装する。
	英		
15	日	最終プレゼン	実装された解決策をプレゼンテーションする。
	英		

履修条件 /Prerequisite(s)	
日	履修規則別表第 11「福知山キャンパス開講科目履修のために必要な単位数」を習得していること。 「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」等、傷害と損害賠償責任の両方に対応した保険に加入していること。 詳細については担当教員まで問い合わせのこと。
英	

授業時間外学習（予習・復習等） /Required study time, Preparation and review	
日	・テーマ提供企業との間で、情報共有や進捗確認を遺漏なく行うこと。 ・授業時間以外に、少なくとも週 7~8 時間程度のグループワーク（調査や課題解決案の作成等）を要する。
英	

教科書／参考書 /Textbooks/Reference Books	
日	
英	

成績評価の方法及び基準 /Grading Policy	
日	中間プレゼンの評価 30% 最終プレゼンの評価 30% 事後提出の個人振り返りレポート 40%
英	

留意事項等 /Point to consider	
日	
英	